

京都府八幡市八幡高坊30 / (075) 981-3001

祭神

- 中御前 - 応神天皇おうじんてんのう(第15代)〔誉田別尊ほんだわけのみこと〕
西御前 - 比咩大神ひめおおかみ〔多紀理毘賣命たぎりびめのみこと・市寸島姫命いちしまひめのみこと・多岐津比賣命たぎつひめのみこと〕
東御前 - 神功皇后じんぐうこうごう〔息長帯比賣命おきながたらしひめのみこと〕

“やわたのはちまんさん”の名で親しまれる石清水八幡宮

“やわたのはちまんさん”と親しまれる当宮が御鎮座する八幡市・男山は、木津川・宇治川・桂川の三川が合流し淀川となる地点を挟んで天王山と対峙する位置にあり、京・難波間の交通の要地であります。また、南北朝時代の大小様々な戦い、羽柴秀吉と明智光秀の天王山の合戦などで知られる政治上の重要な拠点でもありました。

男山は都からみて裏鬼門(南西の方角)に位置し、鬼門(北東の方角)に位置する比叡山延暦寺とともに都の守護、国家鎮護の社として篤い崇敬を受けてきました。

この経済上、政治上、そして信仰上の要の地に御鎮座され、日本を平和と繁栄に導く神として多くの人々に崇敬され、八幡大神様を祀る神社は全国津々浦々に数万社あるともいわれています。

当宮の御祭神は御本殿中央に応神天皇様、西に比咩大神様、東に神功皇后様をお祀りしています。この御本殿に鎮まる三座の神々を総称して八幡三所大神(八幡大神)様と申し上げます。

地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」あるいはJR環状線「京橋駅」からそれぞれ連絡のりかえにて

京阪電車「八幡市駅」～男山ケーブル「男山山上駅」

下車徒歩5分